

第六十七回 帝國議會 臨時利得稅法案兩院協議會議事速記録第一號

昭和十年三月二十五日(月曜日)午前十一時十八分開會

時十八分開會

貴族院協議委員

議長 侯爵中御門經恭君
副議長 伯爵酒井 忠正君

子爵渡邊 千冬君
男爵黒田 長和君
桑山 鐵男君
男爵深尾隆太郎君

倉知 鐵吉君
菅原 通敏君
西野 元君
馬場 鐵一君

衆議院協議委員

議長 前田 米藏君
副議長 熊谷 直太君

中島知久平君
山崎 猛君
堀切善兵衛君
太田 正孝君
加藤久米四郎君
岡田 忠彦君

金光 庸夫君
松野 鶴平君

(前田米藏君議長席ニ著ク)

午前十一時十八分開議

議長(前田米藏君) 只今ヨリ開會イタシマス

馬場鐵一君 便宜上私ヨリ昨日ノ兩院ノ小委員會ニ於キマシテ得マシタ成案ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、先ヅ成案ノ大體ヲ讀上ゲテ見マス

第四條第一項及第三項ハ貴族院議決案ノ通トス

同條第四項ハ衆議院議決案ノ通トス
同條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

利得金額年千圓未満ナルトキハ臨時利得稅ヲ課セズ

第六條ハ貴族院議決案ノ通トス
第九條第一項中「中二千圓ヲ控除シタル金額」ヲ削リ其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

同條第一項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ
個人ノ利益ガ一萬圓未満ナルトキハ前項ノ超過額中二千圓ヲ控除シタル金額ヲ以テ前項ノ利得金額トス

個人ノ利益一萬圓以上ナル者ノ利得金額千圓未満ナルトキハ臨時利得稅ヲ課セズ

同條第四項ハ衆議院議決案ノ通トス
第十四條第二號中「利得金額百分ノ七・五」ヲ「利得金額百分ノ八」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依リ算出シタル稅額ガ法人ニ在リテハ利得金額中年千圓ヲ控除シタル金額、個人ニ在リテハ利得金額中千圓ヲ控除シタル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル臨時利得稅ヲ免除ス但シ第九條第二項ニ該當スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

簡單ニ此成案ノ内容等ニ付キマシテ御報告ヲ申上ゲマス、第一ハ利得稅ノ基準年度ノ問題デアリマス、是ハ結局昭和四年五年六年ノ三年ニ致シマシタノデ、衆議院ノ修正案通リト相成ツタ譯デアリマス、個人ノ稅率ハ衆議院ノ修正ニ依ツテ七分五厘ニナツテ居リマシタノデアリマシテ、貴族院モソレヲ認メテアツタノデアリマスルガ、更ニ變ヘマシテ稅率ヲ八分ト致シタノデアリマス、ソレカラ法人ニ付テハ二千圓控除ト云フコト

ヲ廢メマシテ、利得一千圓未満ノモノニハ課稅ヲ致サスト云フコトニ落著イタシタノデアリマスガ、此點ハ衆議院側ノ小委員ノ方ハ熱心ニ利得二千圓以上ノモノニ課稅シタイト云フ御主張デアッタノデアリマスルガ、最後ニ至ツテ利得一千圓未満ト云フ私共ノ方ノ意見ニ御同意ヲ戴イタ譯デアリマス、此點ハ特ニ御報告ヲ申上ゲマス、個人ニ付キマシテハ、一萬圓未満ノ者ニ付テハ政府原案ノ通りデアリマスルガ、一萬圓以上ノ者ニ付キマシテハ二千圓ヲ控除スルト云フコトニハ致シマセヌデ之ヲ一萬圓以上ノ個人ノ利益アル者ニ付テハ法人ト同一視イタシマシテ、利得ガ千圓ヲ超エル者、即チ利得千圓以上ノ者ダケニ付テ課稅ヲ致シマシテ法人同様、利得一千圓未満ノ者ニハ課稅ヲ致サヌコトニ致シタノデアリマス、尙ホ十四條中ニ規定ヲ置キマシテ、此利得金額千圓カラ丁度千百一十圓頃マデノ者ニ付キマシテハ、特別ノ規定ヲ置キマセヌト云フト、其純所得ガ多イニ拘ラズ課稅ノ爲ニ少イヤウナ結果ニナリマスルコトヲ避ケル爲ニ、特別ノ規定ヲ置イタ譯デアリマス、大體内容ニ付テハ左様ナコトデアリマシテ、之ニ

依テ政府ノ豫定シテ居リマシタ稅額ニ對シテ、約六十九萬圓程度ノ減收ト相成ルノデアリマスルガ、此程度ノ減收ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ適當ニ善處セラルルヤウナ考ヘラ持ツテ居ルヤウデアリマスルカラ、此場合、是ダケノ減收ガ生ジマスルガ、此内容ノ案ニ定メマシテ差支ガナイヤウニ考ヘタ譯デアリマス、大體左様ナ内容ヲ以チマシテ、只今最初ニ讀ミ上ゲマシタ成案ヲ得ク譯デアリマス、此段御報告申上ゲマス

○堀切善兵衛君 贊成イタシマス

○議長(前田米藏君) 只今小委員會ノ案トシテ馬場君カラ御報告ガアリマシテ、堀切君カラ贊成ガアリマシタ、馬場君ノ御報告ノ通り決定イタスコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(前田米藏君) 御異議ナイト認メマス、全會一致決定イタシマシテ、臨時利得稅法案ノ協議會成案ガ成立イタシマシタ、是デ散會イタシマス

午前十一時二十六分散會